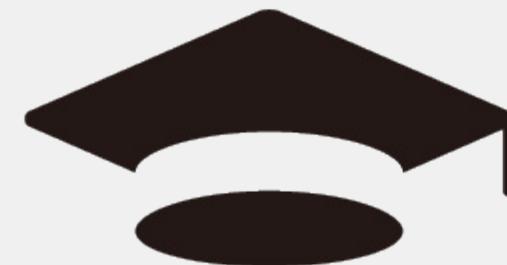


# 研究提案書掲載マニュアル



# Made in Campus

Co-Creation Platform of  
Japanese Academia Startup Ecosystem

京都大学成長戦略本部 統括事業部 イノベーション領域

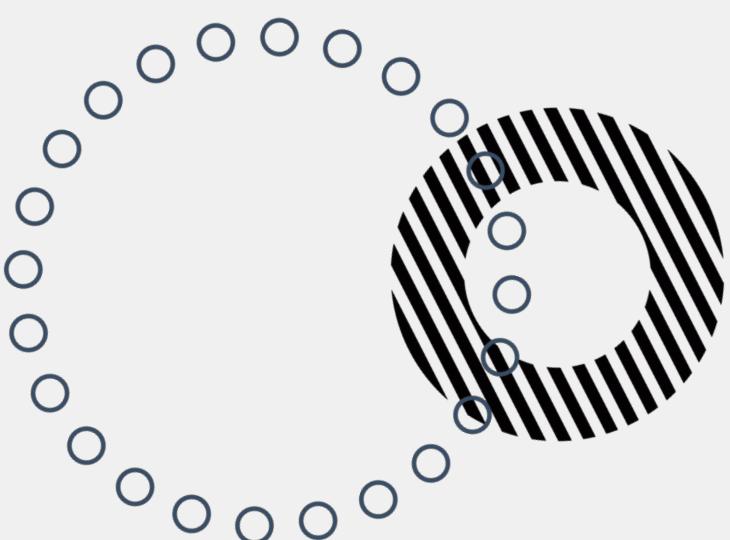
2025年5月26日第4版

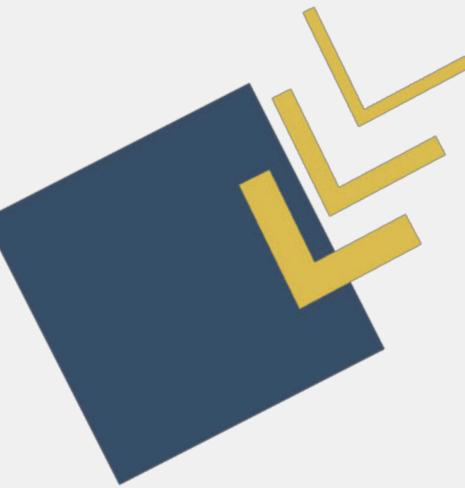
# 目次

---



1. Made in Campus とは
2. 登録方法
3. 研究提案書の準備
4. Upload 方法
5. 確認方法



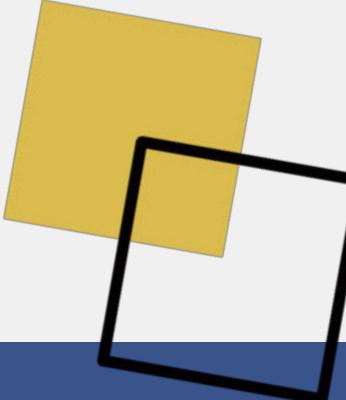


# 1. Made in Campus とは

日本の研究を世界へ提案するため、ライフサイエンスに特化し Visibility を高めたコンテンツ紹介 / プрезЕНテーション用のオンラインツールです。

Made in Campus に登録すれば、現地イベント参加の有無にかかわらずグローバルに案件の紹介が可能です。

既に 2024 年の BIO イベントにて京都大学を中心に運用した実績があり、2025 年は大学発新産業創出基金事業 - スタートアップ・エコシステム共創プログラム-全国ネットワーク構築支援 (NINEJP: <https://ninejp.org/ja>) に参画の拠点に枠を拡げました。研究シーズの提案だけでなく、各大学・プラットフォーム・スタートアップの紹介も掲載しており、学習コンテンツの掲載やオンラインピッチイベントの実施も可能です。



## 2. 登録方法

---

①下記 URL もしくは QR コードへアクセス、新規登録からメールアドレスを登録

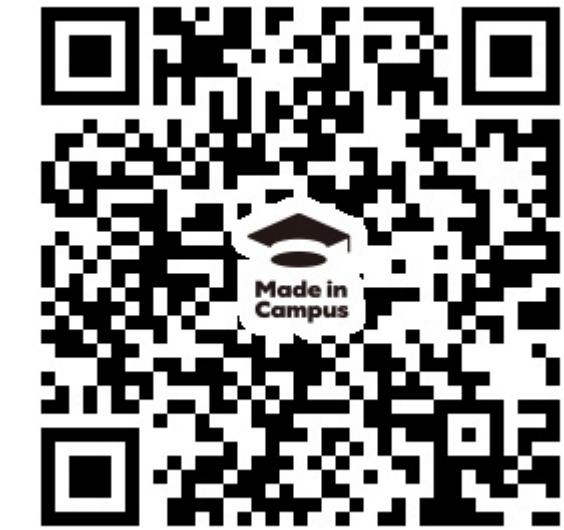
<https://made-in-campus.gakkai.online/>

②本登録ページの URL が記載されたメールが届くので、本登録をお願いします

**※注意：資料を Upload される方は、「参加者」に加え「発表者」にもチェックをいれてください。**

③<https://made-in-campus.gakkai.online/> へ再度アクセス、ログインを確認

まずはユーザー登録をお願いします！

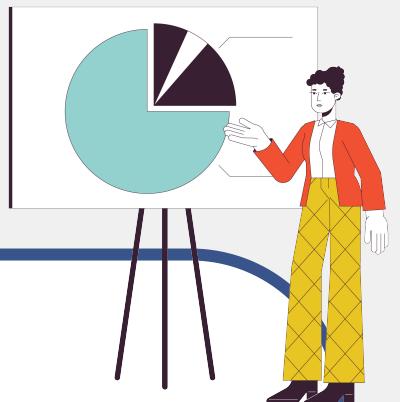


 **Made in  
Campus**

Co-Creation Platform of  
Japanese Academia Startup Ecosystem

### 3. 研究提案書の準備

下記の 2 つのどちらかをご準備ください



#### テンプレート

Made in Campus が用意  
するテンプレートで作成

ダウンロードはこちら：

<https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/E0pWgoGU>  
Misauq1iAvhhcO8Fq6kCd8ph8B-IPWcHJcxa



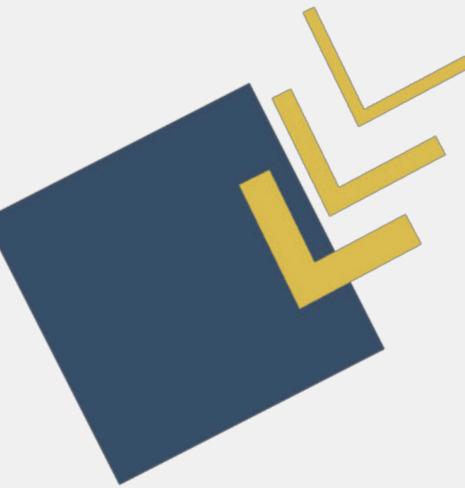
#### 既にお持ちの資料

既に学会発表で使われた  
ポスターやスライド等、  
お手持ちの資料

複数ページ掲載できるので、1 ページにまとめる  
必要はございません

※掲載は Non confidential な情報のみでお願いいたします。

※必要に応じ、ご所属組織の产学連携担当者に提案書の内容をご確認をいただきます。



## 4. Upload 方法

Step 1

Made in Campus ホーム画面から「発表資料の登録」へ



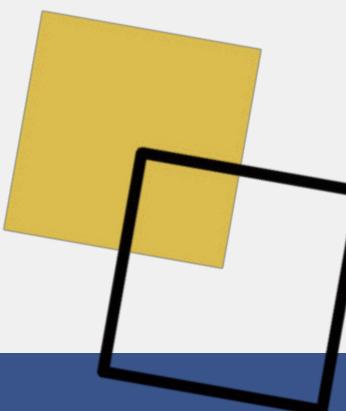
Step 2

(1) ~ (7) の以手順に従って資料の Upload, 情報登録



Step 3

事務局が確認後公開手続きをします



# Made in Campusへの提案書登録の手順（1）

Made in Campusにログインし、ホーム画面⇒「発表の登録」に移動する。

The screenshot shows the Made in Campus homepage with a sidebar on the left containing icons for Home, Presentations, and New.

**Top Navigation:** ホームアソシエ わかりや

**Recent Posts:**

- [【申込フォームあり／Application form available】KANSAI DAY／KYOTO DAY（BioJapan 2024イベント）について / KANSAI DAY / KYOTO DAY - BioJapan2024 pre-events information-](#) 08/01 11:13
- [【ご案内】BioJapan 2024出展に伴うイベントについて：Pre-event information for BioJapan 2024 \(KANSAI DAY/KYOTO DAY\)](#) 07/12 16:43
- [Exhibiting at BIO International 2024 / BIO International 2024に出展中です](#) 06/03 14:03

**Search Bar:** 発表を探す

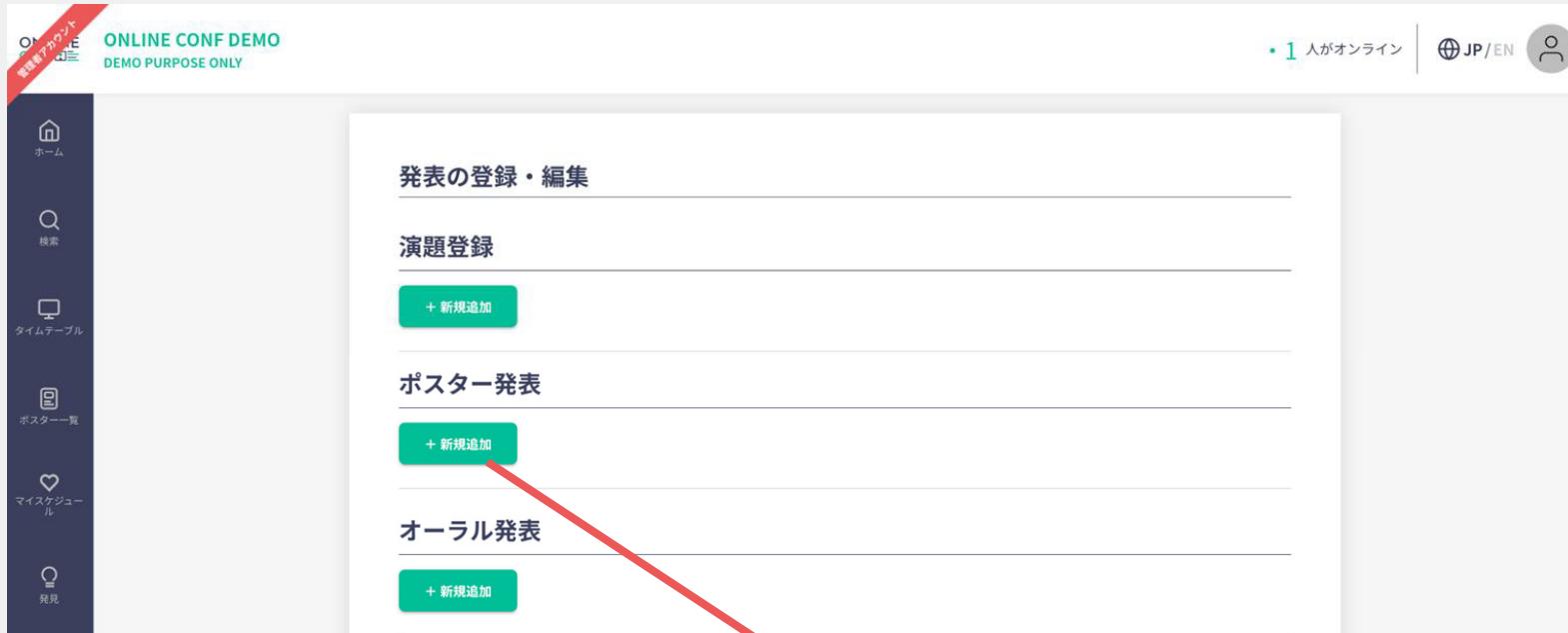
**Buttons:**

- 発表
- プロフィールの編集
- 発表資料の登録** (This button is highlighted with a red border)

**Bottom Section:** あなたへおすすめの発表

# Made in Campusへの提案書登録の手順（2）

「発表の登録・編集」に移動する。



「新規追加」をクリックする

# Made in Campus への提案書登録の手順（3）

ポスター発表編集より、必要事項のご記入と資料のアップロードをお願いします。

## ポスター発表編集

### 発表資料

発表タイトル 必須

B I U S {} x<sup>2</sup> x<sub>2</sub> ⌂ ⌄

日英にて、発表タイトルをご記入ください 日本語／English

31

ポスターのアップロード(PDF) 必須

ファイルを選択

 全国ネットワーク map\_JP\_20250314.pdf

発表動画のアップロード(MP4)

ファイルを選択

動画もあれば Upload 可能です

要旨

B I U S {} x<sup>2</sup> x<sub>2</sub> ⌂ ⌄

要旨を簡単にご記入ください

13

ポスター資料をアップロードしてください。

- ・PDF 形式
- ・アップロードできるのは 1 ファイルのみです。
- ・1 ファイル内のページ数に上限はありません。
- ・5MB 以内をお願いします。  
(システム上の表示速度を高めるには、全体で 1MB 以下、あるいは複数ページの場合は、ページあたり 500KB 以下を推奨します。)

# Made in Campusへの提案書登録の手順（4）

## 所属先情報

※共著者の所属先もご入力ください。

並び  
替え

所属

Kyoto University

+所属を追加

所属を入力してください

## 著者情報

並び  
替え

表記

所属

名前

発表者

著者 1

Kyoto University



編集

+共著者を追加

表示を確認

確認する >

確認ボタンを押して次へ

# Made in Campusへの提案書登録の手順（5）

登録を完了する。



# Made in Campusへの提案書登録の手順（6）

登録後に下記メールが届きます。

ポスター発表の編集が完了しました



ポスター発表の情報の変更が完了しました。  
引き続きホームより情報を編集することができます。  
また、運営による承認を経てタイムテーブルに掲載されます。

[自分の演題一覧に戻る](#)

# Made in Campus への提案書登録の手順（7）

登録を完了した後に確認・編集したい場合：ホーム画面⇒「発表の登録・編集」

登録内容を再度編集する場合は  
「編集」をクリック

※ポスター PDF は新しいファイルを  
アップロードし直すとそのファイルに  
差しかわります。  
どうしてもアップロードしたファイルを  
削除したいという場合は、  
事務局までお問い合わせください。

自分の発表ページ  
(資料がアップロードされているか、  
どのように見えているか)  
を確認する場合は「発表ページ」をクリック

発表の登録内容を PDF 資料の形式で  
確認する場合は「要旨ページ」をクリック

# これで Made in Campus への提案書登録が終了しました！

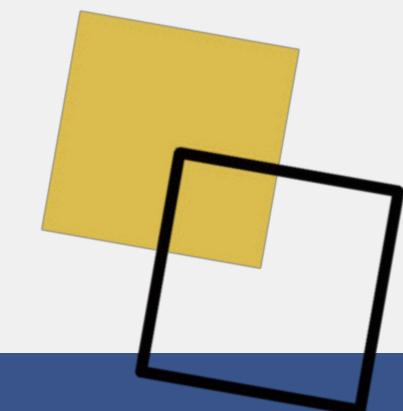
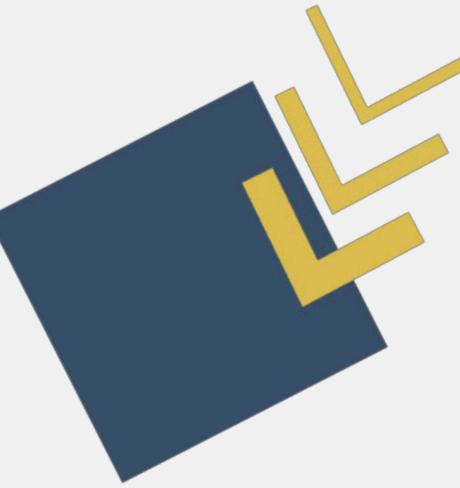
登録されましたら、事務局で内容を確認し「公開」の手続きをします。

ご不明な点がございましたらご遠慮なく下記アドレス、  
もしくは Slack にてお知らせください。

[biohubcollab@contracts.med.kyoto-u.ac.jp](mailto:biohubcollab@contracts.med.kyoto-u.ac.jp)

## 5. 資料閱覽・確認方法

---



# —ポスター発表閲覧方法—

Made in Campus - Bio International 2025 (全国ネット)

※画像はイメージです

The screenshot shows a grid-based navigation menu for the website. The columns represent different research fields or categories:

- Top Row (Category Level):**
  - 紹介 (Introduction) [highlighted by a red circle]
  - Made in Campusについて (About Made in Campus)
  - 全国ネットについて (About National Network)
  - イベント情報 (Event Information)
  - 大学の紹介 (University Introduction)
  - 学習コンテンツ (Learning Content)
- Second Row (Sub-Categories):**
  - 創薬技術 (Drug Discovery Technology)
  - 再生医療 (Regenerative Medicine)
  - 体外診断薬・バイオマーカー・検査 (Extravascular Diagnostic Drugs · Biomarkers · Tests)
  - 医療機器・デジタルヘルス (Medical Devices · Digital Health)
  - その他 (Others)
- Third Row (Detailed Topics):**
  - 創薬 (1) がん、免疫 (Drug Discovery (1) Cancer, Immunotherapy)
  - 創薬 (2) 神経 (Drug Discovery (2) Nervous System)
  - 創薬 (3) 循環器、代謝、内分泌 (Drug Discovery (3) Circulatory System, Metabolism, Endocrinology)
  - 創薬 (4) 呼吸器、消化器、腎・泌尿器 (Drug Discovery (4) Respiratory, Gastrointestinal, Kidney and Urinary Tract)
  - 創薬 (5) 感覚器官、感染症、その他 (Drug Discovery (5) Senses, Infection Diseases, Others)
  - ライフサイエンス関連技術 (Life Sciences Related Technologies)

A red arrow points from the bottom right corner of the third row grid to a call-to-action button.

一覧より登録したい項目をクリック

# タイムテーブル

※画像はイメージです



右の下向き矢印を展開すると選択したセッションで発表される演題一覧が表示されます。  
演題をクリックするとそれぞれの発表の情報が表示されます。

# ポスター発表の閲覧方法

※画像はイメージです

The screenshot shows the 'ONLINE CONF DEMO' interface with the following elements:

- Left Sidebar:** Includes icons for Home, Schedule, My Schedule, Collaborative Online Display, Participants List, and Manual.
- Top Bar:** Shows 'ONLINE CONF DEMO' and 'DEMO PURPOSE ONLY'.
- Header:** Displays '1 人がオンライン' (1 person online), 'JP/EN' language switch, and user profile.
- Central Content Area:** A large green rectangular area labeled 'ここに資料が表示されます' (Materials will be displayed here).
- Top Buttons:** '要旨を見る' (View Summary), 'カレンダーに登録' (Register to Calendar), and 'マイケジュールに追加' (Add to My Schedule).
- Poster View Buttons:** '1/4' (page number), 'フルスクリーンで見る' (View in Full Screen) with a red arrow pointing to it, and zoom controls '+ -'.
- Right Sidebar:** Shows '1 人が閲覧中' (1 person viewing), '閲覧者を見る (意見交流場に招待)' (View viewer (invite to opinion exchange room)), '発表者' (Speaker) list (Tokyo University, ○佐藤 清, 山田 太郎, 佐藤 花子, 東京大学, 鈴木 一郎), '意見交流場はこちら' (Opinion exchange room is here), '現在の参加者数: 0人' (Number of participants: 0 people), '開催時間 10/05 10:00~12/31 23:59' (Duration 10/05 10:00~12/31 23:59), '発表者とビデオ通話で話す' (Talk with speaker via video call), and 'この発表を聞いた方におすすめ' (Recommended for those who heard this presentation).
- Annotations:** A red box highlights the text 'ポスターを全画面表示したいときはここをクリック' (When you want to display the poster in full screen, click here) above the 'フルスクリーンで見る' button. Another red box highlights the text 'ポスターの拡大・縮小' (Zoom in/out of the poster) next to the zoom controls.

# ポスター発表の閲覧方法（コメントする）

The screenshot displays the 'ONLINE CONF DEMO' interface, specifically the poster viewing section. On the left, a dark sidebar menu includes links for Home, Search, Timeline, Poster List, My Schedule, Session, and Sponsors Online Display. The main content area shows a green placeholder for '1 ページ' (Page 1). Below this, a 'コメント' (Comment) section allows users to input comments and attach files. A red box highlights this area with the text: 'コメントを投稿できます。※コメントは全参加者に公開されます。' (Comments can be posted. \*Comments will be publicly visible to all participants.). To the right, a sidebar shows session details: '2 人がオンライン' (2 people online), 'JP/EN' language switch, and a user icon. It also displays a message about the session ending, participant status (佐藤 清 (東京大学)不在), and a button to view attendees ('閲覧者を見る'). Further down, it lists recommended sessions: '協賛展示 Sample\_01' by 田中太郎 (××株式会社), '学会をハイブリッドで開催するメリット' by 清水洋子 (早稲田大学), and 'テストタイトル<sup>a</sup>上<sup>b</sup>' by aa (a).

ONLINE CONF DEMO  
DEMO PURPOSE ONLY

1 ページ

コメント

発表に関して質問事項等ございましたら、コメントをご投稿ください。

管理 | 管理 管理

コメントを入力してください

ファイルを添付

人気 最新

コメントを投稿できます。  
※コメントは全参加者に公開されます。

2 人がオンライン JP/EN

意見交流場は終了しました

佐藤 清(東京大学)不在

意見交流場の閑暇時間外

1 名間観中

閲覧者を見る

この発表を聞いた方におすすめ

協賛展示 Sample\_01  
田中太郎 (××株式会社)

学会をハイブリッドで開催するメリット  
清水洋子 (早稲田大学)

テストタイトル<sup>a</sup>上<sup>b</sup>  
aa (a)

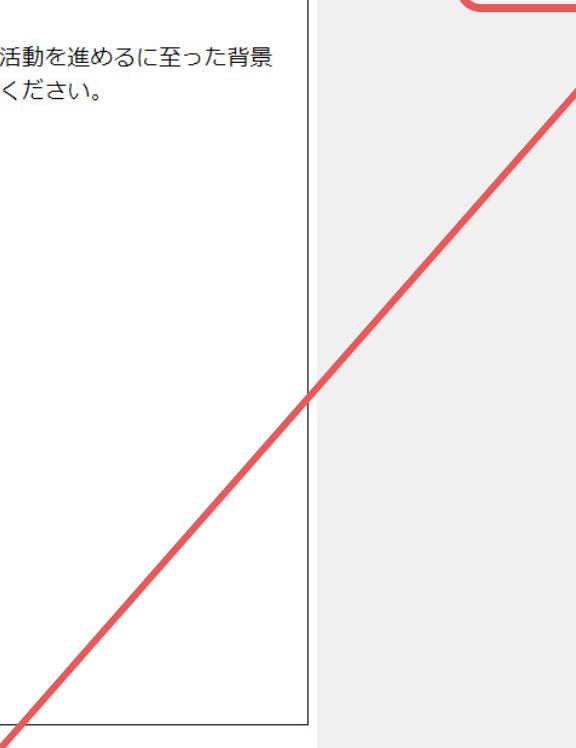
# Made in Campus 上の要旨ページ（イメージ）

**Confidential**

<b>[Title]</b> オンラインコミュニティサロンについて（背景と目的）
<b>[Presenter and Affiliations]</b> ○ 鈴木 忍 <sup>1</sup> ( 1. 京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構 )
<b>[Abstract]</b> オンラインコミュニティサロンについて、本活動を進めるに至った背景と、目的について纏めております。是非ご覧ください。

[PDF version here](#)

PDF を表示すること  
もできます





京都大学  
KYOTO UNIVERSITY



Institutional  
Advancement and  
Communications

京都大学 成長戦略本部 統括事業部 イノベーション領域



**Made in  
Campus**

Co-Creation Platform of  
Japanese Academia Startup Ecosystem